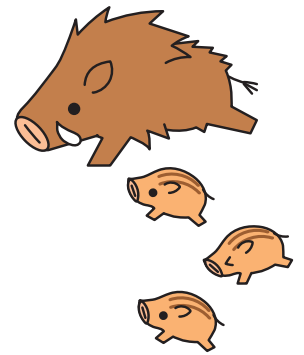




永崎 陽 議員
(新政会)



一般質問

■鳥獣焼却炉整備について

有害鳥獣焼却施設の早期完成を！

質問 能登島向田町地内に建設するため、町会役員や隣接地所有者への説明で、皆さんに理解を得ることはできたか。建設に向けたスケジュール、施設の概略や焼却する場合の規約は。駆除後の負担軽減のためにも令和2年度中の稼働は可能か。

答弁 8月に地元からおおむねの了解をいただき、現在は有害鳥獣焼却施設の概略計画を作成し、国や県と協議を行っている。来年1月末に計画書を国へ提出する予定で、事前に地元の説明を行い、最終的な了解を得たいと考えている。令和2年4月から実施設計を行い、8月に工事着手、令和3年1月末に完成を見込んでおり、試運転など調整を行った後、本稼働は令和3年4月1日の予定である。

焼却処理能力は、イノシシ成獣が百キログラムとして1日5頭の焼却ができ、年間2百日稼働すると、約千頭の焼却処理ができることになる。1日5頭5百キログラムを超える場合は、冷凍保管し、焼却しやすくするため切断し適宜処理する。なお、燃料については、灯油を予定している。

施設設置条例を定め、指定管理者制度での運営を考えている。受入時間や持込手数料は、今後検討していきたい。

【その他の質問項目】

■新ゴミ処理場整備について
■行財政改革について

■企業誘致について（野菜工場）

一般質問

■骨髓バンクドナー登録推進について

骨髓バンクドナー登録の推進を！

質問 血液のがん患者数、造血幹細胞移植数とドナー登録数は。ドナー休暇制度はあるか。骨髓を提供する際の休業助成制度はあるか。20歳未満の予防再接種が必要な方への助成をどのように取り組んでいるか。

答弁 骨髓バンクドナー登録推進について、市内の血液のがん患者数及び造血幹細胞移植数は、統計上公表されていないため、把握していない。骨髓バンクドナー登録数は、市町別では公表されていない。なお、石川県赤十字血液センターで公表している県内登録数は、令和元年10月現在4,867件となっている。

ドナー休暇は、当市で特別休暇の一つとして規定しているが、これまで取得実績は無い。骨髓提供の際の休業助成制度について、本人や企業に対する休業助成制度は無い。ドナー本人や企業に対し助成金を交付する制度については、現時点では考えていない。

骨髓バンクドナー登録の推進について、県と協力し、毎年10月の骨髓バンク推進月間による普及や登録に必要な検査を県保健福祉センターで実施している旨の周知をホームページ等で図っていききたい。

骨髓移植等で免疫を失った方のワクチン再接種について、現在国で再接種の支援について検討していることから、今後ワクチン接種に向けて支援を検討していきたい。

【その他の質問項目】

■地域を守る建設土木の担い手を育てる公共工事の平準化について
■七尾市の保育料について

■サポートセンターについて



伊藤 厚子 議員
(無党派)



日本骨髓バンク